

令和6（2024）年度

女性教育指導者研修⑤ 実施報告

実施日：令和6（2024）年9月25日（水）

女性教育指導者研修の第5回研修は、午前にグループ研究④「地域課題の分析と考察」を、午後に説明・演習「講座の企画・立案の手法」を行いました。

グループ研究④「地域課題の分析と考察」

午前中の研修では、発表会までのスケジュールについて確認した後、フィールドワークの調査結果を共有し、分析・考察を行いました。

フィールドワークでは、「女性目線で考える防災」という研究テーマに基づいて、各自が、地域で行われている防災セミナーに参加したり、コミュニティセンターに防災に関する話を聞きに行ったりしました。フィールドワークで体験したことや聞いたことを全員で共有することで、新たな気づきを得ることができたことに加え、災害時や避難所設営において女性の視点があることの重要性を再確認することができたようです。

説明・演習「講座の企画・立案の手法」

午後の研修の前半は、講座を企画する際の流れやポイントについて確認しました。その後、フィールドワークから見てきた課題を解決するために必要な学びとは何かを考えました。

後半は、前半の確認や演習を基に実際に講座を組み立てました。午前中に共有したフィールドワークの調査結果を十分に生かしながら、「女性目線」というキーワードを念頭に置いて、講座の目的や内容について具体的に考えました。



第6回でのグループ研究⑤で、フィールドワークの結果のまとめと講座の計画の完成を目指し、第7回のグループ研究発表に向けて準備を進めていきます。

＜受講者の感想から＞

- ・防災に関して意識を高めるということが少しずつですができるようになり、よかったと思っています。
- ・グループで議論し、結論にもっていく方法や、グループ活動のノウハウを学ぶことができました。
- ・企画・立案の構成をするのが大変でしたが、講座が完成できそうです。
- ・フィールドワークをもとに自分たちで講座の立案をしていますが、内容がとても良いので、地域で実践できないかと考えています。
- ・女性視点での避難所づくりについては、実際に体験しないと気付くことができないと思いました。5人で取材することで、それぞれの考え方や見方があることに気付きました。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp